

「實相寺HPリニューアル」

ホームページをリニューアルしました。主な目的はセキュリティの強化と全ページでのスマホ対応でしたが、併せて令和三年度から募集する「日供講」の概要を掲載しています。(一部変更あり) URLがhttpsに変わりましたが、スマホならば左記QRコードからご覧になれます。

施餓鬼・総会の延期

について



例年4月に開催している施餓鬼・花園会総会ですが、コロナの感染状況を鑑み、令和3年度の花園会総会は6月13日(日)午前10時よりと致します。後日あらためてご案内しますので、宜しくご承知下さい。

本堂屋根裏の続報

お正月明けに業者に来て貰い、本堂屋根裏に登ると3〜4箇所動物の糞が溜まったところがありました。そこで二週間ほど屋根裏に罾を仕掛けましたが、その後気配がないので、現在は昨夏三匹捕獲した場所に罾を移動しています。今後は糞を除去消毒し、出入り口と思われる箇所を塞ぐ予定ですが、書院も繋がっている為、思案中です。



實相寺 花園會報

令和三年
二月一日発行
発行所
臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園会
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL.087-889-3838
編集発行人
山本文匡
<https://www.jissouji.net>

第142号

お寺の掲示板

『松翁道話』は江戸時代後期の心学者、布施

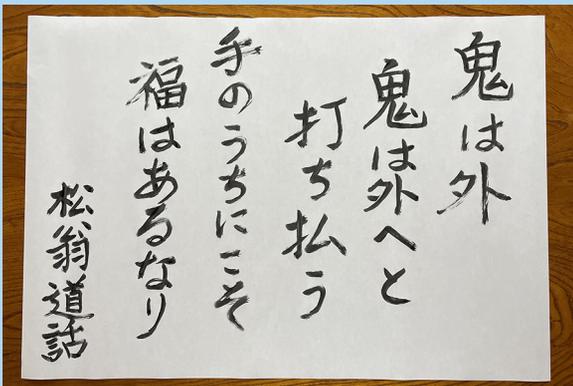
松翁(一七二五〜一七八四)の道歌を集めた本。

この歌には二つの受け止め方があります。

一つは「鬼は外」と自ら努力する、その姿勢にこそ福があるとする考え方。

もう一つは「鬼は外」と払わなくても、本来私たちは福で満たされている、とする考え方。

この両方が大切だと私は思います。



松翁道話

お釈迦さまの伝記・仏伝について②
佐々木先生は、「仏伝を理解すると、
仏教の様々な側面が見えてくる」とさ
れ、その一例として「浄土思想」を紹
介しておられます。

もともと仏教本来の考え方では、仏
とはお釈迦様一人です。ですからお釈
迦様の時代、悟りを開いた弟子を「阿
羅漢あらかん」といいました。「十六羅漢」や「五
百羅漢」もここから来ています。もし
て五十六億七千万年後に次の仏である
弥勒みろくぶつが登場するまで、この世は無仏
の時代が続くと考えられていました。

ところがお釈迦様が亡くなって四
五百年経った頃、お釈迦様もかつて過
去仏に出会って仏になる誓願せいがんを立てた
ように、他の世界でも過去仏と出会っ
て誓願を立てた仏がいるに違いない。

が、阿弥陀を始め、多くの仏・菩薩は
必ずしも歴史的事実ではありません。
こうした仏教思想の変遷を知る上でも、
仏伝は貴重な資料なのです。

では初期の仏伝は一体どこから始
まったかという点、それはお釈迦様が
菩提樹の下で悟った所からだと言われ
ています。その初期の仏伝が、お釈
迦様の悟りから教団が形成されるまで
の話として、仏教教団の規則が定めら
れた『律蔵りつぞう』の中に書かれています。
(余談ですが、お釈迦様の教えを『経蔵きやうぞう』、
お経の注釈書を『論蔵ろんぞう』といい、『律蔵』
と合わせて『三蔵さんぞう』と言います。)

なぜ仏伝が『律蔵』の中に納められ
ているのか？それは当初、仏伝は単な
るお釈迦様個人の偉人伝では無かった
ことを示しています。

そして、その中には全ての人が救わ
れなければ自分は仏には成らない、と
いう誓願を立てた仏もいるのではない
か、と考えられるようになりました。

その仏の名を阿弥陀あみだといいます。阿
弥陀仏はかつて法蔵菩薩ほうぞうぼさつと言いま
した、今は仏となっています。というこ
とはその誓願が叶ったということであ
私たちはただ「南無阿弥陀仏」とその
名前を呼びさえすれば、阿弥陀仏の本
願によって極楽に往生し、悟りを開く
ことが出来るというのが浄土思想です。
「他力本願たうりきほんがん」を説く浄土思想は、一
見するとそれまでの仏教（自分で修行
をして悟りを開く宗教）とは全く異な
る別の思想の様ですが、実は仏伝の宇
宙観を背景として発展したものです。

お釈迦さまは歴史上実在の人物です

お釈迦様が悟りを開いた後、段々と
弟子が増えてくると、各地に集団が出
来、お釈迦様一人ですべての弟子たちを
統括することは出来なくなりました。さ
らにお釈迦様が亡くなられた直後には、
教団を維持確立するための根拠が必要
だったはずです。

そこでお釈迦様が仏陀と成ってから
定められた規則の制定史というものを
明確にすることで、この教団が仏陀の
教えに基づく正当なものである、とい
うことを内外に示す必要があったのだ
と考えられています。

つまり初期の仏伝
から、お釈迦様在世中
の教団の様子を知るこ
とが出来るのです。

